

事業所名

児童発達支援事業所 よきによきのおうち

支援プログラム

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達一人ひとりが、その子らしく自己を実現し、尊厳を保ち、安心して共に生きる社会の実現に向けて努めています。</li> <li>子どもの思いに目を向け、「今」を大切に、一人ひとりの発達や個性、特性に合わせた支援を行い、子ども達の生活の質の向上をめざします。</li> <li>保護者と共に、子どもの発達や特性について考え、育ちを共有し、子どもの成長を支えています。</li> <li>全ての人が支え合い、大切に思い合う社会の構成員となり、誰もが安心して暮らすことのできる地域であり続けるために貢献していきます。</li> </ul>						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲から愛され、認められ、尊重される環境の元、心を揺さぶられる「今が楽しい」と感じる楽しい経験を積み重ねていきます。</li> <li>「やってみたい、できるかな」という子どもの気持ちに寄り添い、発達の過程、特性などに十分配慮しながら「やってみよう!」「できた!」を支援し、友達や周囲の人達から認められる関係を大切にしています。</li> <li>子どもの自尊心や自発性、主体性、自己抑制力を育てつつ、達成感や自信に繋がる体験を積み重ね「挑戦する力」「生きていく力」を育みます。</li> <li>保護者の意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、支援者の専門性を活かして支援にあたっていきます。</li> </ul>						
営業時間		8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの思いを大切に、安心や信頼感を持って過ごせる場を提供します。</li> <li>衣類の着脱、排泄、身なりを整えるなどの生活を営む上で必要となる基本的技能の習得に対して、職員と1対1での対応を基本とし、視覚支援の提示など子どもの障がいや特性に合わせた指導を行っています。</li> <li>構造化などにより生活環境を整えるTEACCHプログラムを参考に、子どもの特性に合わせた環境面からのアプローチを実践していきます。</li> </ul>						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達段階、及び特性に配慮した視覚、聴覚、触覚、固有覚、前庭覚などの感覚を十分に活用できるような微細運動や粗大運動遊びを取り入れていきます。</li> <li>運動遊びを楽しむ中で、日常生活に必要な動作の基本となる、姿勢保持や各種の運動・動作の改善や習得などに関する支援を行い、ボディイメージの発達を促していきます。</li> <li>感覚や認知の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対するアプローチや環境調整などの支援を行っています。</li> </ul>						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な感覚を活用する中で、自分にとって必要な情報を収集し、認知機能の発達を促すための職員と1対1での机上遊び、小集団での運動遊びを取り入れていきます。</li> <li>遊びや日常生活場面での活動を通して、子どもの発達段階に対応した、数量、形、大きさ、色、空間、時間、季節、日ひち、曜日、季節、物の機能や属性などの習得の為の認知教材の活用や、クッキング、散歩や外遊びなど、具体的な働きかけを行っています。</li> <li>感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生じる行動障害に対して、事前に環境調整などを話し、適切行動の獲得に向けた支援を行っています。</li> </ul>						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>指差し、身振り、サインなど、子どもの発達段階に対応するコミュニケーション手段を選定し、状況理解と意思の伝達ができる機会を積み重ねていきます。</li> <li>楽しいと感じる体験の中で、自発的な発語を促し、具体的な事物や体験と言葉の意味を結び付けつけるなどにより、体系的な言語の習得に繋がる支援を行います。</li> <li>小集団での遊びや、他者と場の共有をする中で、共同注意の獲得を含めたコミュニケーション能力の向上の為の支援を行います。</li> <li>障がいや特性に応じた読み書き能力の向上のため、位置把握遊び、カルタ遊び、運筆遊び、模写遊び、砂文字遊びなど個々に応じた支援を行っています。</li> </ul>						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な人との信頼関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人との安定した関係を形成する為の支援を行っています。</li> <li>発達段階に応じた遊びを通し、人の模倣遊びから、見立て、つもり遊び、ごっこ遊び、協同遊びへと、スモールステップでの遊びの育ちを促し、社会性の発達を支援してきます。</li> <li>大人が介在する中で、自分のできること、できないこと、気持ちに折り合いをつけられる方法など、自分自身の行動の特徴を理解すると共に、気持ちや情動の調整ができるようになる為の支援を行っています。</li> <li>子どもの発達段階や、特性に応じた環境調整を行い、ルールのある遊び、順番交代などを視覚支援も含めたSSTも取り入れて取り組む中で、子ども自らが自発的に集団に参加し、手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援していきます。</li> </ul>						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が安心して子育てを行うことができるよう、保護者の思いを尊重し、寄り添いながら、子どもの発達支援に沿った支援プログラムを作成し、実施していきます。</li> <li>保護者の「子どもの育ちを支える力」を向上させることを目的とした、学習会や交流会などを行っています。</li> </ul>				移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>併行通園児童の利用日数や時間の調整を行うと共に、本人の状況や支援内容の情報を共有します。</li> <li>事業所での支援が円滑にひきつがれていくよう、保育園や幼稚園、小学校などの移行先とも援助方針や支援内容などの共有、支援方法の伝達を行います。</li> </ul>		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達支援の連続性を保障するため、保育園や幼稚園、こども園、学校などと連携し、情報の共有と相互理解に努めていきます。</li> <li>支援を利用する子どもが、地域で適切な支援を受けられるような関係機関などと連携していきます。</li> <li>関係機関・団体との連携を円滑なものとする為、自立支援協議会へ参加するなど、関係機関・団体との関係性を構築していきます。</li> </ul>				職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所内に自己研鑽の為の図書の整備の充実を図り、事業所内での勉強会を開催します。</li> <li>障害児関係団体などが実施する研修会に参加します。</li> <li>他の事業所などの見学や派遣しての研修を行います。</li> </ul>		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回避難訓練 ・ 毎月1週間幼児おやつクッキング週 ・ 保護者参観（年1回以上） ・ 保護者交流、学習会（毎月1回）</li> <li>季節の行事（こどもの日、七夕、夏季の水遊び、クリスマス、お正月、節分、ひな祭り）</li> </ul>							